

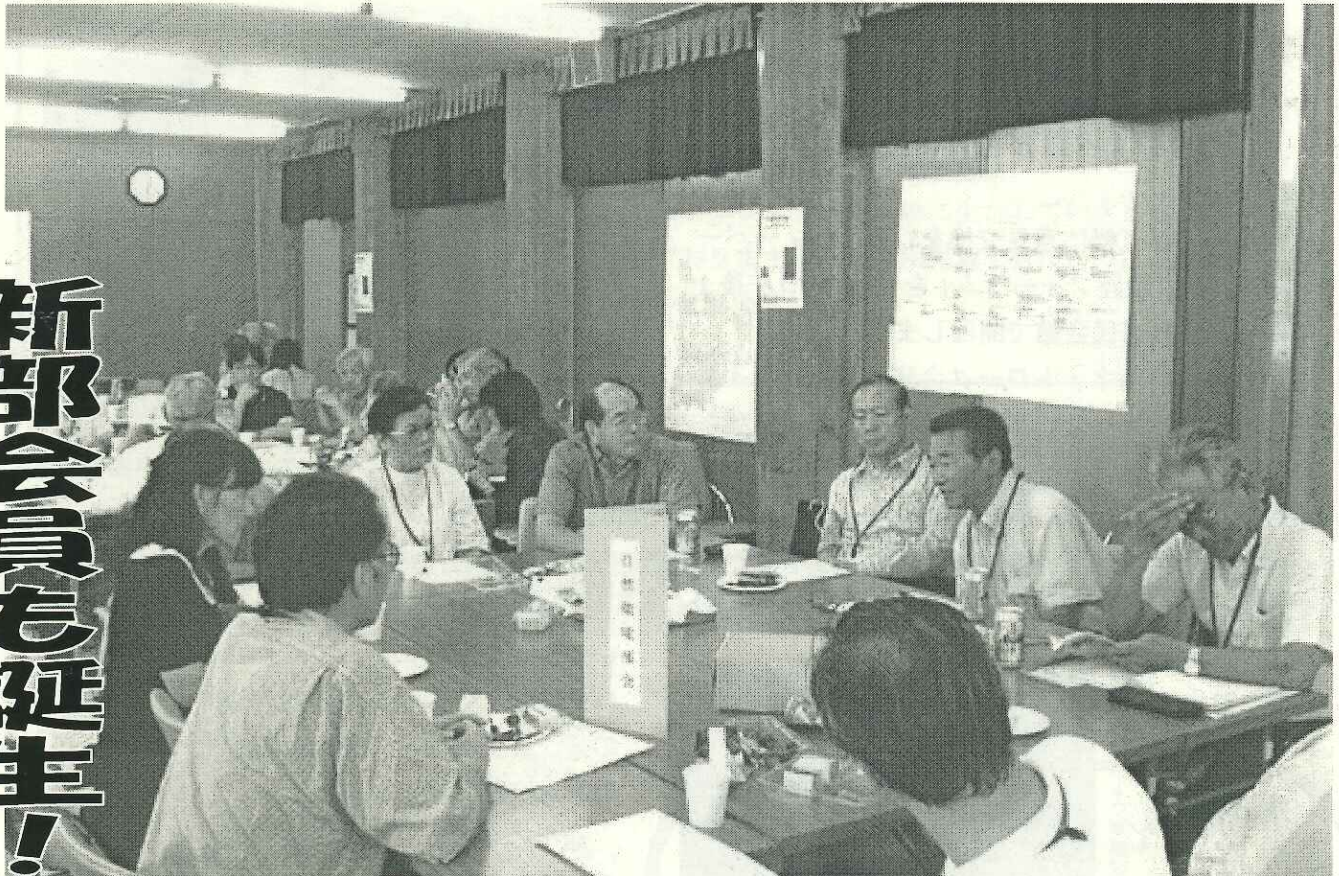
NO.2

平成16年
(2004)

環境ひらかた

7
月号

新部会員も誕生！ 親睦フォーラム開催



多くの会員が参加し盛り上がった親睦フォーラム

会員同士が気軽に意見交換

まだ部会に入部していない会員に、気軽に参加してもらい、今後の活動の方向性を探るための「親睦フォーラム」を6月20日、枚方市民会館で開催しました(写真上)。当日は67人の会員が参加。部会ごとに別れたテーブルでは、今後の活動について熱い話し合いがもたれました。このフォーラムをきっかけに新しく部会に入部した会員もあり、参加者からは「またこのような機会を設けて欲しい」との声が出ていました。

目次

親睦フォーラム&CO2削減キャンペーン	-----2
各部会&運営委員会の活動	--- 4
特集部会紹介	-----6
お知らせ	-----7
団体紹介	-----8

今後の活動の方向性を探る

6月20日 親睦フォーラム

会員同士が活動に対する想いを披露

67人の会員が参加

軽食を食べながら、楽しく交流

会員同士が気軽に意見交換を行う、ティーパーティ形式の「親睦フォーラム」を6月20日午後1時から、枚方市民会館で開催しました。

ひらかた環境ネットワーク会議も設立から4か月が経過し、各部会の活動が進む一方、会員からは「参加したいけど敷居が高い」「何から始めたらいいのかわからない」などの声があり、多くの会員が気軽に参加できて、部会の活動などについて意見交換ができる場を提供しようと、このフォーラムを企画しました。

当日は台風6号の影響で、どんよりとした蒸し暑



会員同士、和やかに意見交換

い天気にもかかわらず、67人の会員が参加。既に部会に入っている人も、まだの人もそれぞれ部会ごとに別れたテーブルに着席しました。

フォーラムは、谷崎利男会長の「日頃思っていることを存分に話してください」との挨拶ではじまり、各部会長や顧問の紹介、ルール説明の後、各テーブルで気軽に軽食をつまみながらの意見交換が始まりました。

途中のシャッフルタイムでは、「他の部会がどのような活動をしているのか」と自由にテーブルを移動して話を聞く人で大いに盛り上がり、また思いついたことを自由に書いて貼れるようにと設けられた「書きたい放題ボード」には、多くの貴重な意見が貼り付けられ（3ページ参照）、参加者の活動に対する熱い想いが感じられました。

今回は、顧問の植田和弘さんと平峯悠さんにも参加いただきました。両顧問は、各テーブルを回りながら、活動に対するアドバイスや、参加者からの質問に答えておられました。

このフォーラムをきっかけに部会に加入した会員も多く、今回の「親睦フォーラム」は、ネットワーク会議にとっても、会員にとっても有意義なものとなりました。

植田和弘さん（京都大学教授）



- 市民の感覚と専門家の知恵が必要。枚方市内には多くの専門家がいないはず。アイデアを実現するには専門化の知恵を借りることが重要。
- 具体化する場所を設定することが重要。

平峯悠さん（地域デザイン研究会理事長）

- 議論は十分されているが、これをどう届かすかが問題。
- 行政の見方でなく、市民の感覚で考えることが重要。住み方、日常生活の感覚を大切に、こうなったらいいなというところから考える。



こんな活動がしたい、こうすれば枚方が良くなる

「書きたい放題ボード」に寄せられた会員の声

- ・枚方市内の環境団体の活動成果を発表できる場を、ネットワーク会議で作ったらどうか。
- ・夏季の気温を下げるために、駐車場や道路等を緑化ブロックや透水性舗装にする。
- ・我々の生活に欠かせない水は淀川に依存しているが、市民の関心は決して高いとは言えない。
- ・穂谷地区の見学で気づいたこと、天の恵みである雨水が全く利用されていない。
- ・自動販売機の設置を減らす。これにより、使用電力量の削減、景観の向上が果たせる。
- ・市内にブロックごとに、ごみステーション（鉄製の恒久的なもの）を作り配置する。
- ・水生生物、昆虫、野鳥等が増えるような街づくりをしてほしい。それが良い街づくりになる。
- ・天の川の見学会をしてほしい（活動しておられる方の説明も頂きながら）。

これらの意見は「会員の声」として、今後のネットワーク会議の活動に生かしていきます。また次号以降で、ご意見についての連載を予定しております。また今回掲載できなかったご意見を含む詳しい内容は、近日中にホームページで掲載いたします。

多くの貴重なご意見ありがとうございました。

ひらかたパークなど市内各所で消灯実施

CO2削減100万人の環キャンペーン

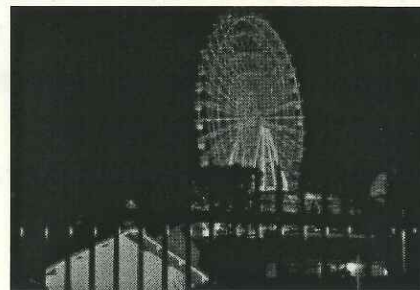
ひらかた環境ネットワーク会議では、6月20日の午後8時～10時の間に消灯をして、スローな夜を過ごすことを市民・事業者呼びかける「CO2削減100万人の環キャンペーン」を展開しました。

これは、地球温暖化防止につながるライフスタイルへの変革を実現するため、環境省が全国民に「消灯」を広く呼びかける同キャンペーンに、ネットワーク会議が応じて実施したものです。

同キャンペーンでは、6月初旬から会員にチラシやポスターを配布するとともに、ネットワーク会議のホームページや「広報ひらかた」、「エフエムひらかた」(77.9MHz)を通して市民に広く呼びかけを行いました。

また事業者に対しては市内2100事業所にキャンペーンへの協力とネオンサインなどの消灯を依頼。6月20日の当日には「ひらかたパーク」の大観覧車をはじめ、市役所の各施設や市内の大学などが消灯に協力してくれました。

全国では東京タワーをはじめとする6069のランドマーク施設（その他、通天閣、大阪城、天保山の大観覧車、道頓堀のグリコネオンなど）がネオンサ



ライトダウンされたひらかたパークの観覧車

ひらかたパークの観覧車の照明も消えた！

インの消灯を実施し、家庭においても多くの人が消灯に協力しました。

ネットワーク会議では、今後もこのようなキャンペーンを通じて、市民や事業者が環境問題への理解を求めていきます。

参加事業者・施設

- ・(株)エフエムひらかた
- ・大阪工業大学情報科学部
- ・摂南大学薬学部
- ・ひらかたパーク
- ・枚方市水道局
- ・(株)山崎製作所 ダスキンホール枚方ステーション
- ・ユニオン興産(株)

いよいよ本格的に活動開始

自然環境部会

現状を知ることから始めてみませんか！

市内に遺された貴重な里山、穂谷野外活動センター周辺は遠くから見ていると緑豊かで、まさに“里山”と呼ぶにふさわしい容ぼうをかもし出しています。そんな里山ですが実際はどうなんだろうかと、5月22日、23人の参加者とともに歩いてきました。そこには遠くから眺めているのとは違った悲惨な現状がありました。抉り取られてむき出しになった山肌、そこに捨てられている

大型家具や電気製品その他雑多な廃棄物・・・



参加者からはこんな声も「富士山もそうやなー、登ったら汚いでー」本当に日本の何処でも起きていることです。目をそらさず、現状を知り、そこから何が出来なのか、一人ひとりが考えみんなで知恵と力を寄せ合えればと話し合いました。皆さんも是非知ることから始めてみませんか？



ごみ・エネルギー部会

今年度は部会員の相互理解と情報の共有化を図ります！

平成16年度は部会員相互理解および情報共有化のために、個人・団体ですで行われている取組み・活動の現状報告・紹介を行っていきます。同時にごみおよびエネルギー分野の現状・問題点を広く展望して、意見の集約および統一的な方向を模索していきます。

2月15日の第1回ミーティングから第6回現在まで、下記のようなテーマで意見交換を行ってきました。

- ・枚方市のごみの現状と減量化への取組み
- ・枚方市地域新エネルギー市民会議での取組み
- ・NPO法人「エコ・スマイルひらかた」における活動
- ・資源ごみに対する自治会の取組み
- ・枚方市地域新エネルギービジョンについて
- ・天ぷら廃食用油の再資源化について
- ・自然分解性フィルムについて
- ・おおさかパルコープの環境に関する取組み

次回の7月16日(金)、第7回ミーティングでは、「続：おおさかパルコープの環境に関する取組み」「環境問題に対する一提言」について報告・質疑応答・意見交換をする予定です。

公共交通部会

当面、自転車部門、バス部門の二本立てで活動していきます！

- 4月26日、平峯顧問に話題提供をお願いし、「交通を考える～誰が、どのように取り組めばいいのか」と題してセミナーを開催しました。
- 5月17日ミーティングにおいて、バス部門、自転車部門の年間活動計画を立てました。
 1. 自転車部門では、「自転車利用による快適な生活を」をモットーに、
 - ・自転車通行にとって良いところと悪いところ、その改善策
 - ・河川敷の自転車道整備方策 等を進めます。
 2. バス部門では、
 - ・バスの意義や現状の把握
 - ・バスが利用しやすい交通手段となるための検討 など行っていきます。

各部会&運営委員会の活動

まちづくり部会



百済寺跡や枚方宿などを見学！フィールドワーク開催

5月23日まちづくり部会の第1回フィールドワークを実施し、18名の参加がありました。雨天決行と決めておいたのが良かったのか、野外に出るには絶好の天気となりました。百済寺跡公園をスタートし、禁野車塚古墳、「天の川を清流にする会」の活動、京街道枚方宿を巡りました。ボランティア観光ガイドさんの詳しい解説のおかげで枚方の歴史の深さを知ることができました。鍵屋資料館へ到着し、みんなで、くらわんか寿司を食べ、ガイドさんとの懇談、枚方宿地区まちづくり協議会との懇談など、楽しく有意義な半日プラスアルファを過ごしました。



百済寺跡でボランティアガイドに説明を受ける参加者

環境教育サポート部会

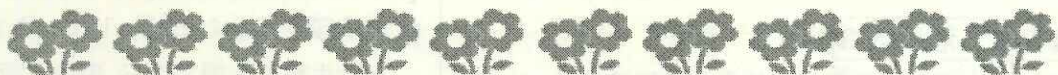


今後の具体的な活動が決定、新たな参加者を募集します！

設立以来約3か月間、部会内の組織作りや活動方針についての話し合いを経て、今後の活動が具体的に決まりました。そこで、当部会では、会員の新たな参加者を募集します。ネットワーク会議のホームページをご覧になる方は、今後の予定のサイトで会合の日時をご確認の上、当日会場にお越し下さい。ホームページをご覧にならない方は、初回のみ事務局（市役所環境総務課）にお問い合わせ下さい。2回目以降は部会から会合の日程をご連絡します。

- ①小学生向け環境家計簿
- ②学校版 ISO
- ③市民が環境について学習するしくみ
- ④部会のホームページ
- ⑤市内学校の授業への協力などの作成・検討 に加わっていただける方を求めます。

運営委員会



多くの方々にかかわっていただける事業の立ち上げを検討していきます！

運営委員会では、事務手続き上の執行規則などを決める作業が一通り終り、「ネットワーク会議」ならでの事業を具体化する時期に入りました。まずは最初に「親睦フォーラム」と「CO2削減・百万人の環」キャンペーンを実施しました。親睦フォーラムでは、会員の皆さんから多様なご提案をいただきましたので、それらを活かし、多くの人にかかわりたいと感じてもらえる事業の立ち上げを「ネットワーク会議の四つの役割」に沿って検討していきます。お楽しみに。

※「ネットワーク会議の四つの役割」

- ・枚方市環境基本計画を推進するため、各主体が協働してプロジェクトを企画、実行する
- ・枚方市環境基本計画の進行状況を点検、評価し、計画の見直しを検討する
- ・環境保全活動に取り組む個人や団体が交流し、連携する場を提供する
- ・環境に関する情報を集積・研究し、発信する

特集・部会紹介 環境教育サポート部会

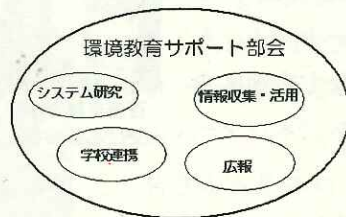
各ワーキンググループの活動内容を紹介

環境教育サポート部会は、枚方の地域環境や地球環境についての市民の学びをさまざまな面から支援し、それを通して市域の環境保全が深まっていくことを目指しています。

ワーキンググループ (WG) とは？

現在、当部会では、図のとおり4つのワーキンググループ (WG) があり、それぞれ活動を行っています。

各WGの現在の活動内容や状況を次の通り紹介します。



(5月末現在)

システム研究WG

市域の多くの市民が環境教育活動に関わるしくみ作りを研究するグループです。右の学習会をふまえて、西宮市の事例を参考にしながら、枚方なりのしくみを構想する手がかりとして、①人と人、活動と活動をつなぐツール（道具立て）にどんなものがあるか、②市内の既存の活動（行政行為、事業者、NPOなど）のどれとどれを結ぶのが有効か、③行政のどの部署が連携すればうまくいくかをはじめとするフレームワーク（枠組み）を設定し、情報収集や調査の方針について話し合っています。

情報収集・活用WG

情報収集・活用WGでは、枚方の環境教育についての情報を収集し、その活用を検討しています。

現在、枚方市が行っている環境に関する取り組みを理解するため、枚方市環境基本計画を中心に勉強しています。「企業や市民から環境に対する取り組みについて情報を集めていくためにも、市が取り組んでいる内容を知っておかないと」と語る世話人の田中実氏。

これからも会合を重ねていきながら具体的なWGの活動を行っています。

学校連携WG

学校連携 WG では、会合を通じて活動内容が具体的にになりつつあります。

今年度の主な活動は、市立桜丘北小学校と府立磯島高校との連携です。これらの学校の学習年間計画の環境教育に関する部分に対応するかたちで、本 WG がパイプ役として学校と交流を深めながら、活動体制や計画を立てていきます。①エネルギー教育、②学校版 ISO 作成、③校庭でのたい肥化、④総合的な学習の時間の授業協力などがテーマに上がっています。

これらの活動に今以上に多数の方に加わっていただきたいので、どうぞよろしくご参加ください。

広報WG

広報 WG では、当部会の活動の発信部門として記事の編集・作成を主に活動しています。

『明るく・楽しく・元気に！』をモットーに、今後も楽しく活動していきたいと思っています。

学習会開催の報告

平成 16 年 4 月 17 日、ラポールひらかたにおいて、環境教育サポート部会主催の学習会が催されました。

市民・事業者・行政の協働で昨年 11 月に「環境学習都市宣言」をした西宮市の活動を、NPO 子ども環境活動支援協会の長手聖美さんと西宮市環境都市推進課の大成広毅さんからお話しいただきました。

小学生が 6 年間で学ぶ、環境学習プログラムを保護者や、学校、商店、事業所、行政、地縁組織などが連携・協働して体系的にまとめられた活動に、参加者一同驚嘆！質疑応答も活発で、参加者の関心の高さがうかがえました。



※WG を含めて部会の活動についての問い合わせは、事務局を通して部会長石川までお願いします。

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーに掲載している体験談やスタッフ募集の申し込みは事務局（枚方市役所環境総務課内）までご連絡ください。
TEL 072-841-1221 代

各部会・運営委員会の今後のスケジュール

まちづくり部会ミーティング

日時：2004年7月11日（日）

PM 1:30～

場所：楠葉公民館 会議室

議題 ①運営委員会等報告

②フィールドワークの感想について

③親睦フォーラムの結果について

④部会活動のテーマ・課題について 他

ごみ・エネルギー部会ミーティング

日時：2004年7月16日（金）

PM 6:00～7:30

場所：ラポールひらかた 2階 集会室

議題 個人・団体の既活動状況報告 他

環境教育サポート部会ミーティング

日時：2004年7月20日（火）

PM 7:00～9:00

場所：市民会館 第6会議室

議題 プロジェクト・チーム（学校連携、小学生版環境家計簿開発、学校版 ISO 開発）の立ち上げについて

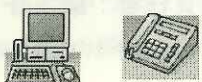
システム研究WGミーティング

日時：2004年7月24日（土）

AM 10:00～12:00

場所：メセナひらかた 第1和室

スケジュールは随時、ホームページに掲載していきますので、ご覧ください。ホームページをご覧いただけない場合は、事務局までお問い合わせください。



スタッフ&お助けマン募集

★運営スタッフ募集

- ・会報誌の作成に興味がある（作り方を勉強したい）
 - ・ホームページの作成に興味がある
 - ・イラストを書いてみたい
 - ・漠然としたイメージを図にすることができる
 - ・ファイルメーカーなどデータベースソフトが使える
- 以上の項目にひとつでも当てはまるボランティアの方を募集しています。

★いざという時のお助けマン登録者募集

ホームページ管理者やハイキングマスター、パソコン指導者、河川の生物観察・鳥獣観察などをなさっておられる方、枚方の歴史語り部など、ボランティア登録していただける方を募集しています。

連載コーナー体験談募集

★連載コーナー体験談を募集

「環境に対する身近な疑問」に掲載する生ごみ処理機の使用体験談を募集しています。

ホームページをリニューアルしました!

今まで、ネットワーク会議のHPは枚方市のHPに、事務局の連絡先は枚方市環境総務課のパソコンに、間借りしていた状態でしたが、この度、独自にインターネットおよびホームページを開設することになりました。つきましては、下記の通り、HPアドレス、メールアドレスともに変更になりますのでよろしくお願い致します。

新しいホームページでは、ミーティングやイベントの予定などの最新情報を掲載するのはもちろん、運営委員会の議事録や各種資料、会報のバックナンバーなども掲載します。

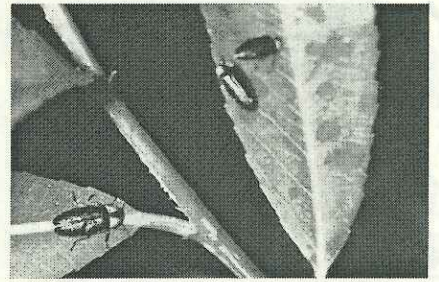
E-Mail jimukyoku@hirakata-kankyoku.net
HP <http://www.hirakata-kankyoku.net>

団体紹介 コーナー

ほ た ひらかた星垂るの会

1997年10月設立

会員数：11名 代表：赤城 正幸



枚方にホタルをよみがえらせよう

天の川にホタルをよみがえらせよう、ふるさと枚方にホタルを呼び戻そうという夢を持って会を設立しました。

これまでに、津田地区がらと川の環境を整えその結果、現在ホタルは乱舞するまでに増えました。

また、市内でヒメボタルやヘイケボタルが生息しているのが発見できました。

また、星垂るの会は青年会議所と協働して、枚方市内の小学校でビオトープを造り、ホタルをよみがえらせる運動をおこなっています。この学校ビオトープは今後小学校全校を目標に進めていきたいと

考えています。この目標を、達成するために氷室小学校で幼虫の飼育を始めました。枚方の川の水をきれいにする事でホタルがよみがえり、環境教育の生きた教材となっています。多くの人と協力しながら、枚方の自然環境を保全していきたいと考えています。

★環境を考え、守るために多くの方々が活動されています。このコーナーでは、団体や個人のユニークな活動を紹介します。みなさんの活動の情報を、事務局までお寄せ下さい。

連載コーナー ～「環境のへえ～」～

みなさんはアルミ缶1個作るのに必要な電力はどのくらいだと思いますか？

なんと、勉強用の20ワットのスタンドを10時間連続してつけておけるだけの電力量が必要なのです！アルミは



“電気のカンヅメ”とも呼ばれているんですよ。ちなみにアルミ缶をリサイクル利用すると97%も節電になるそうです。

編集後記

表紙を見てすでにお気付きの方もいらっしゃると思いますが、この会報誌の名前が「環境ひらかた」に決定しました。応募10作品の中から、運営委員会の投票で決まったものです。他にオシャレな横文字の名前もありましたが、子どもからお年寄りまでどなたにも分かりやすく、親しみを感じていただけるようにと、この名前が選ばれました。今後も、会員はじめ広く枚方市民に愛され親しまれる会報づくりに努めます。

(鍛冶谷 記)

会員を募集しています

一緒に枚方を住みよい街にしませんか

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民（個人、団体、サークル、NPO）、事業者から広く募集しています。入会を希望される方は事務局へ、電話、FAX、Eメールでお申し込みください。



ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第2号

平成16年7月1日発行（年4回発行）

発行：ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-8666 大阪府枚方市大垣内町2丁目1-20

枚方市役所環境総務課内

電話 072-841-1221（内線966）

FAX 072-841-3039

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyuu.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyuu.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：鍛冶谷 知宏

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。

